

市名	山形市	福山市
人口 (令和元年12月末住基人口)	244,998人	468,880人
議員定数 (議会報告会等の開催時点)	33人	40人
名称 ※開始年度	議会報告会 ※平成25年度～	福山市議会報告会 ※平成25年度～
開催回数	1回	2回
開催時期	平成30年11月6日(火)、13日(火)	①平成30年8月19日(日)～28日(火) ②平成30年11月6日(火)
開催時間	1時間半程度	1時間半程度
開催会場数	8会場(1日4会場)	①8会場(市内を8ブロックに分け、そのブロックごとの会場で開催しており、複数会場での同時開催は行っていない) ②福山市立大学(平成30年度・令和元年度に開催し、次回は未定)
出席議員数	各会場8～9人	各会場に9人～10人
出席議員の選出方法	<ul style="list-style-type: none"> 市内8カ所のコミュニティセンターで開催し、全議員が分担して各会場を担当するよう班を編成する。(1班8～9人の4班体制としている。) 議員自身の選出区には出席しない。 各班に常任委員会委員2人を配置する。 各班の会派の人数のバランスを調整する。 女性議員が各班に1人以上配置する。 初当選議員が所属委員会に1人にならないよう配置する。 	<ul style="list-style-type: none"> 議長を除く議員による班を4班編成し、各班で2ブロックを担当し、その担当するブロックは各派代表者会議において決定する。平成29年度から、常任委員会(総務、民生福祉、文教経済、建設水道)ごとに班編成を行っている。 基本的に議会報告運営委員会の委員で班編成されている。
開催形式等 ①開催形式 (対面形式、ワークショップ方式、ワールドカフェ方式等) ②構成 (議会報告、意見交換、2部構成等) ③報告内容 (定例会審議概要、委員会審査概要等) ④意見交換内容 (テーマ等)	<ul style="list-style-type: none"> ①対面形式 ②2部構成 第1部:議会報告・質疑応答 第2部:その他市政全般に関する意見交換 ③9月定例会審議概要 ④市政や議会に関して自由に意見交換 	<p>開催形式 対面形式(一部、グループワーク形式)</p> <p>構成 2部構成(第1部:議会からの報告 第2部:意見交換)</p> <p>報告内容 市の取り組みの報告、常任委員会からの報告</p> <p>意見交換内容 市政や議会に関して自由に意見交換</p>
周知方法	<ul style="list-style-type: none"> 市議会ホームページ 議会報 市広報紙 会場地区の回覧用チラシを配布 会場のコミュニティセンター便りへの掲載 市役所庁内、市街地公民館、コミュニティセンターにポスターを配置 報道機関への広報・取材依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ①市ホームページ 市議会ホームページ 市広報紙 市議会だより 報道機関に情報提供 市内高等学校、特別支援学校、公民館、コミュニティセンターにポスターを配布 町内会長、自治会長、自治連合会長、PTA連合会長等に案内文書及びチラシを配布 ②大学へ案内チラシを配布 報道機関に情報提供
参加者の募集方法	事前申し込み不要で直接会場へ来場	事前申し込み不要で直接会場へ来場
市民の参加人数	1回8カ所で165人	①555人 ②学生25人
議員と事務局の役割分担	<p>【議員】 開催までの準備や当日の会場設営・運営等は基本的に議員が行う。 (会場の選定・予約、会場地区での回覧用チラシの配布依頼、司会進行、実施報告書の作成 等)</p> <p>【事務局】 チラシ・ポスターの作成、事務用品等の準備、次第等の作成・印刷、市の広報紙や市議会だよりでの周知、報道機関への広報・取材依頼、市議会ホームページへの掲載 等</p>	<p>【議員】 開催までの準備や当日の会場設営・運営等は基本的に議員が行う。 (進行シナリオの作成、当日配布する報告資料等の作成、開催案内の配布、当日の司会進行、報告、答弁、記録、報告書等の作成 等)</p> <p>【事務局】 議員の補助的な立場で関わっている。 (会場の確保・使用手続、手話通訳等の手配、資料等の印刷、事務用品等の準備、市の広報紙や市議会だよりでの周知、市ホームページや市議会ホームページへの掲載 等)</p>
市民意見の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> 各会場の実施報告書を全議員に配付 議会報、市議会ホームページに主な意見を掲載 	<ul style="list-style-type: none"> 次の区分に分類して、各派代表者会議において説明し、文書により議長に報告している。 <ul style="list-style-type: none"> (1)市長部局等の回答が必要なもの (2)参考意見として受けるもの (3)要望として受けるもの (4)委員会等での調査が必要なもの 報告及び処理結果の概要を市議会だよりやホームページ等で情報提供している。 公民館等に報告書等を配布し、閲覧ができるようにしている。
課題や問題点等	<ul style="list-style-type: none"> 市民からいただいた意見等の活用方法(政策立案 等) より多くの市民が参加できる開催形態(会場数、時間帯、報告内容 等) 	より多くの市民が参加できる開催形態(会場数、時間帯、報告内容 等)
参加者増加や内容充実等のために行っている工夫	<ul style="list-style-type: none"> 市内全域の市民が参加しやすいよう、市内8地区で開催 市民が参加しやすいよう、平日の夜に開催 会場地区に回覧用のチラシを配布(地区の自治推進委員会にも参加し、周知) 議員個人のSNSを使用し、周知 	<ul style="list-style-type: none"> 市内全域の市民が参加しやすいよう、市内8箇所の会場で開催 市民が参加しやすいよう、平日の夜や日曜日に開催 市内高等学校、特別支援学校、公民館、コミュニティセンターにポスターを配布 手話通訳等を配置 市立大学で学生を対象とした議会報告会を開催(平成30年度・令和元年度)
事務局への聞き取り調査による特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 自由討論は対面型(スクール形式)で実施している。 参加者全員が1会場で自由討論を行うため、広めの会場を確保している。 自由討論の中で出された質疑・要望等への回答は持ち帰らず、その場で回答し完結するようにしている。 原則、議会全体としての回答とし、議員個人の意見は発言しない。 近年は意見要望の場になってしまっており、議員個人への攻撃になってしまったこともあった。 上記の反省から、ワールドカフェ方式などへの転換を検討している。 他市と同様、例年参加者集めに苦慮している。 <p>議員自身の選出区の会場には出席しないのは、「公正な報告等ができないため」であり、地元となると、後援者などの参加が多くなり、議会としての公正な報告や意見交換ができなくなるおそれがあるため、とのこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自由討論は幾つかのテーブルに分かれ、対面方式で実施している。 各テーブルに数人づつ議員を配置し、司会進行・意見の取りまとめ等を行う。 近年は意見交換というよりも要望・苦情が多い。 各会場に平均70人ほどの参加者があるが、実際は議員関係の動員が多数を占めている。